


江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.19

## 『今年の冬は』

## 『雪が少ないので作業がはかどります!』

いつでも来い! と言わんばかりの張り切った雪囲いをして、今、大河原の私たちの家はまるで要塞のようなのですが、この冬は、雪が降らないので……。端切れだらけの囲われたトタン達がそれほど日の目を見ず、それが良かったのかどうなのか……。(笑)

というところですが、家の近辺の竹藪の整備など、暮らしはおかげさまで出来ることがいろいろと増えて助かっています。今月は主に、クロモジに関するお話を開いたり、クロモジラテやクロモジ飴などの製品づくりなどを進めたりもしていました。また、柿原集落で活動させてもらっているクロモジについての取材記事が、この度の日本農業新聞にも掲載されました。もし機会がありましたら、ぜひご覧になってください。

それと、ここ最近では、脚立にのってノコギリやインパクトを片手にトンカン作業もし始めています。大工仕事なんてあまりしたことがないので、見よう見まねですが、少しずつ思いを形にしながら、竹やクロモジ工房をはじめ江府町にいろんな楽しい場所を作っていきたいと思っています。



観光振興班 いわさき ちえ 岩崎 智恵

## 『雪かきの苦勞がない反面……』

昨年に続き、雪がさっぱり積もらない年となりました。1月～2月は味噌の仕込みがメイン業務です。味噌の仕込みの中でも大豆を蒸して米糰と混ぜ攪拌しタンクに入れる作業の日は、朝6時に美用の味噌工場に上がって一人作業をします。

そんな中で雪があると雪かきして工場に入らないといけません。昨今雪が少ないので除雪の苦勞はありませんが、春～秋の水稲栽培での水不足が心配になります。雪かきの心配が無くて冬場過ごすには快適でも、後から問題が起きるのも困りものです。雪が少ないからと手放しで喜べるものでもありませんね。今年の田んぼの水が少ないなどの問題がおきませんように祈るばかりです。



法人宮市班 まつもと よしふみ 松本 良史

## 『雪が降らな～い!』

初めて江府町に来た時は豪雪の年で、笠良原では雪が背丈まで積もる状態でした。この景色を見て非常に興奮しました。雪という物は美しいけれど非常に厳しい一面もある。寒さはもちろんですが、毎日、意識すべきものが多くなる。運転の時の安全面、水道の破裂を防ぐ対策、雪国に慣れていない来客者のための安全確保や適切な情報。雪が降ることによって、いろんな体制を準備しておかないと生活にかかわってくる。

その反面、周り一面がふかふかの雪に覆われると、分厚い毛布に包まれ、守られている感じがします。雪が降れば、今まで感じたことのない静けさと静止状態に癒されます。雪は人間の精神に強い影響を及ぼすと思います。雪が降ることによって、一年の忙しい働きに追われた日々からちょっとだけ、ゆっくりさせてくれるのではないのでしょうか。

だが今年は全く違いますね! 「こんなに雪が降らない年は始めてだ!」という声をよく聞きます。異常気象なののでしょうか? お陰さまで、雪国特有の厳しさは感じませんが、何だか、物足りない気がします。雪が降らなければスノーシューも出来ないし雪遊びも出来ません。江府町ならではの魅力がなくなっていくのではないかとちょっと心配です。



農業振興班 くわはた さいもん 柴畑 才文